



令和6年度 兵庫県立川西カリヨンの丘特別支援学校グランドデザイン

学校教育目標

児童生徒一人一人の人権と個性を尊重し、自立と社会参加に向け、豊かな心と主体的に考え行動する力を養う。

兵庫県の基本理念

兵庫が育むところ豊かで自立する人づくり
「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」の育成

兵庫県特別支援教育第四次推進計画

兵庫県がめざす特別支援教育

- すべての子どもが認め合い、安心して学べる環境
- 幼児児童生徒に応じた合理的配慮の提供
- 切れ目ない一貫した支援

- I 連続性のある多様な学びの場における教育の充実(縦の連携)
- II 連携による切れ目ない一貫した相談・支援体制の充実(横の連携)

教育方針

- 児童生徒一人一人の個性を尊重し、互いに認め合う温かい学校。
- 児童生徒の可能性を引き出す、創意工夫のある教育活動ができる学校。
- 家庭・地域と連携し、地域社会から信頼される学校。

新しい時代に必要な 資質・能力の三つの柱

学びを人生や社会に生かそうとする
「学びに向かう力・人間性」の涵養

生きて働く
「知識・技能」
の習得

未来の状況にも対応できる
「思考力・判断力・
表現力等」の育成

めざす子ども像

- 優しく思いやりのある子。
- 明るく主体的に行動する子。
- 夢に向かってチャレンジする子。

<小学部目標>

友だちや教師と関わりながら、楽しんで生活しようとする児童を育てる。

<中学部目標>

自分や仲間を大切にし、協力し学びあう生徒を育てる。

<高等部目標>

豊かな心で仲間と支え合いながら、新しいことに挑戦し自己実現できる生徒を育てる。

<分教室目標>

地域社会で役割を果たし、自信をもって自分らしい生き方を探求・実現できる生徒を育てる。

教職員の専門性の向上

- ・特別支援教育にかかる知識・技能の向上と指導力の向上を図る。
- ・学校教育の中で新しいことに挑戦し、高い目標に向かってやり遂げようとする姿勢を持ち続ける。
- ・チームカリヨンとして、仲間を信じ、共に成長する教職員となる。

心のバリアフリーの推進

- ・副籍をいかした居住校交流の充実を図る。
- ・地域社会との交流や体験活動を通して、自らの社会性を培う。

地域社会との連携・協力

- ・地域社会との交流や様々な体験活動にチャレンジすることを通して、自らの社会性を培う。
- ・地域社会の人々の特別支援教育に対する理解を深め、特別支援教育の啓発を図る。
- ・学校施設を活用した地域コミュニティの充実(カフェサービス)等

センター的機能の充実

- ・発達障害のある幼児児童生徒を含め、一人一人の教育的ニーズを把握し、きめ細かく適切な教育支援を行うことを理念とし、地域における支援・助言等を行う。
- ・エリアコーディネーターとの連携の構築 等



学校危機管理体制の向上

- ・全教職員が共通の認識のもとで事故・災害へ対応できるよう、役割等を明確にするとともに、体制を確立する。
- ・新型コロナウイルス感染症等の流行や、災害等の不測の事態が生じた際の学びの保障に備える。

家庭との信頼関係

- ・家庭・地域とのつながりを深め、必要な支援について情報共有を行う。
- ・保護者にわかりやすい情報発信の充実を図る。等

福祉・医療等 関係機関との連携

- ・本人・保護者の願いを中心に据えた適切な支援を行うため、放課後等テイスサービスなどの福祉機関等と効果的な支援を共有する。
- ・医療的ケアを必要とする児童生徒のニーズに因えるため指導医、主治医等との連携の充実を図る。等

自立と社会参加を見据えたキャリア教育

- ・地域の関係機関と連携しながら、職場見学、現場実習等の体験的活動の充実を図るとともに、外部人材の参画を進める。
- ・卒業後の社会参加に向け、小学部から高等部まで一貫したキャリア教育の充実を図る。等